



CONTENTS

P.2-3	事業報告書等の作成に向けて
P.4-5	ひろがる協働のみらい
P.6	CIS活動成果報告会・閉講式開催

P.7	ほっと一息ブレイクタイム
P.8	シンポジウム開催のお知らせ 助成金情報

## 福島県NPOのつどい開催



12月13日(金)に「福島県NPOのつどい2024」を開催しました。テーマは「協働」。東北6県の中間支援組織から、協働事業の成功と失敗の事例報告のほか、グループセッションを行い交流しました。

各県の取り組み事例は次の通りです。

- ・福島県、福島地域福祉ネットワーク会議「福島市土船地区を舞台としたNPO×町内会×企業の取り組み」
- ・青森県「廃校を活用した事業」
- ・秋田県「小さな拠点から大きなつながり」と題した少子高齢化による人口減少等の地域課題に取り組む姿
- ・岩手県「中間支援ネットワークの取り組みや各地域の行政との学びや取り組み」
- ・宮城県「教育委員会や企業との協働 高校生夏ボラ体験等」と「町内会×NPO×教育機関 防災のための取り組み」
- ・山形県「行政×NPO 受託事業 NPO支援センターなどの取り組み」

参加者からは、「成功事例だけではなく、失敗事例や苦労話が聞きたい。」との意見が多く上がりました。印象に残ったのは、NPO×市民×行政×企業が幅広く手を取り合いながら、自立性のある市民社会の実現に取り組んだビジネスモデルで、一時は、地域の賑わいづくりに寄与しましたが、行政の支援が終了したことで多くの課題が見えた事例です。資金や雇用などの課題に対して、根本的な改善策が無く事業を終了してしまい、成功に見える事例でも課題はあり、学びにつながる点があるということです。

大きな事業スケールの中で、「誰のための事業であったのか」「コミュニケーションをしっかりと、相互に理解をしていたのか」「協働に住民が含まれ、対等な立場だったのか」等の観点を見失い、事業終了に至るといことはありがちです。事業を継続するためにも、事業の節目ごとにしっかり振り返り、足元を固め、視点を共有していくことが大切であると改めて感じました。



# 事業報告書等の作成に向けて

NPO法人は、毎事業年度終了後、3か月以内に事業報告書等の提出が義務付けられています。毎年この時期になると、これらの書類作成についての相談が増えます。

そこで今回は、特に相談件数の多い「財務諸表」の作成ポイントをお伝えします。

正確な書類を公開し、より多くの信頼と共感を得ましょう。

※財務諸表とは、「活動計算書」「貸借対照表」「財務諸表の注記」のことをいいます。



活動計算書

経営収益の部：「受取会費」「受取寄付金」「受取助成金等」「事業収益」「その他収益」の5つに区分していますか？（該当項目がなければ記載不要）

〇〇年度 活動計算書  
××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇  
(単位：円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費	×××	
2. 受取寄付金	×××	
3. 受取助成金等	×××	
4. 事業収益	×××	
5. その他収益	×××	
経常収益計		×××
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	×××	
人件費計	×××	
(2) その他経費		
旅費交通費	×××	
通信運搬費	×××	
消耗品費	×××	
その他経費計		
事業費計		×××
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当		
人件費計	×××	
(2) その他経費		
会議費		
事務所家賃		
その他経費計		
管理費計		×××
経常費用計		×××
当期正味財産増減額		×××
前期繰越正味財産額		×××
次期繰越正味財産額		×××

2 経常費用の部：「事業費」「管理費」の2つに区分し、さらにそれぞれを「人件費」と「その他経費」に区分していますか？

3 当期正味財産増減額は「収益」から「費用」を引いた額になっていますか？

4 次期繰越正味財産額は「当期正味財産増減額」と「前期繰越正味財産額」の合計額と一致していますか？

## 貸借対照表

〇〇年度 貸借対照表  
××年×月×日現在

特定非営利活動法人〇〇〇〇  
(単位：円)

「資産の部」「負債の部」「正味財産の部」の3つに区分していますか？

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	×××	
流動資産合計		×××
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	×××	
有形固定資産計	×××	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	×××	
無形固定資産計	×××	
(3) 投資その他の資産		
敷金	×××	
投資その他の資産計	×××	
固定資産合計		×××
資産合計		×××
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
短期借入金	×××	
流動負債合計	×××	
負債合計		×××
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	×××	
当期正味財産増減額	×××	
正味財産合計		×××
負債及び正味財産合計		×××

2 資産合計は「負債及び正味財産合計」と一致していますか？

3 正味財産合計は「前期繰越正味財産」と「当期正味財産増減額」の合計と一致していますか？

算式が成り立たなければ間違っています！

I 資産の部 = II 負債の部 + III 正味財産の部  
正味財産の部 = 活動計算書の「次期繰越正味財産額」

### 財務諸表の注記

活動計算書と貸借対照表の内容を補足する重要な情報です。

注記すべき  
10項目

- 1 重要な会計方針 → 必ず記載
- 2 会計方針の変更
- 3 事業費の内訳or事業別損益の状況 (任意)
- 4 施設の提供等の物的サービス (任意)
- 5 ボランティアによる役務提供の内訳 (任意)
- 6 使途等が制約された寄付等の内訳
- 7 固定資産の増減内訳
- 8 借入金の増減内訳
- 9 役員及びその近親者との取引の内容
- 10 その他NPO法人の資産、負債、正味財産の状態等を明らかにするために必要な事項

最新のNPO法人会計基準に準拠して作成した場合は「財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。」と記載します。

該当する項目がない場合は、注記を作成する必要はありません。シンプルな活動を行っているNPOでは、重要な会計方針を書くだけの場合もあります。

定款に「その他の事業」を記載している場合

〇〇年度 活動計算書  
××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇  
(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
2. 受取寄付金			
3. 受取助成金等			

「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」を区分して、併記していますか？

# 事業報告書等の作成は進んでいますか？



お困りの際はサポセンにご相談ください。

提出が義務付けられている書類は7つ！

- 1 事業報告書等提出書
- 2 事業報告書
- 3 財産目録
- 4 貸借対照表
- 5 活動計算書
- 6 前事業年度の役員名簿
- 7 社員のうち10人以上の名簿

期限内に提出しよう！

作成した事業報告書は、事務所に備え置かなければなりません。

詳しくは、NPO法人会計基準協議会ウェブサイトへ <https://www.npokaikeikijun.jp/>



NPO法人の管理・運営に関すること【事業報告書等の提出】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11055a/npo28.html>





# ひろがる協働のみらい



## 協働事例 1

### NPO主催イベントへの連携・協力 ～CARNIVAL BAZAAR～

協働の主体と役割

- NPO** 一般社団法人CARNIVAL WORKS(郡山市)  
【役割】イベントの主催・運営、学生ボランティアスタッフの募集等
- 企業** キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
【役割】カメラ機材提供、ブース運営スタッフによるサポート



#### 協働のきっかけ

キヤノンマーケティングジャパン株式会社から連携の提案があり、ふくしま地域活動団体サポートセンターが一般社団法人CARNIVAL WORKSを紹介したことがきっかけ。

#### 協働内容

2012年からキヤノンマーケティングジャパン株式会社が実施している"東北地区に向けた"復興・創生推進活動「みんなの笑顔プロジェクト」が、一般社団法人CARNIVAL WORKS主催のイベント「CARNIVAL BAZAAR」に参加・協力しました。キヤノンのスタッフのサポートのもと、学生ボランティアが、提供されたミラーレスカメラで、来場した子どもたちのお仕事体験イベントなどを楽しむ姿を撮影し、記念に写真をプレゼントするなど、参加者同士の交流の輪をひろげました。

#### 一般社団法人CARNIVAL WORKSのコメント

イベント当日は、自衛隊や消防車両との写真を撮影し、子どもたちも親御さんもみんな笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。また、参加した高校生や大学生のボランティアスタッフにとっても、本格的なカメラ機材に触れて撮影することができ、大きな経験となりました。

## 協働事例 2

### 環境保護イベントの連携・協力 ～TOYOTA SOCIAL FES!! 2024～

協働の主体と役割

- NPO** NPO法人いわき鳴き砂を守る会(いわき市)  
【役割】イベントの主催・運営
- 企業** 福島県内トヨタ販売店各社  
【役割】イベント参加、テントなどのイベント運営施設の提供
- 福島民友新聞社  
【役割】イベント告知、関係団体間の調整



#### 協働のきっかけ

トヨタ自動車が2012年から全国各地で始めた環境保護活動で、海岸環境保護活動に実績のあるNPO法人いわき鳴き砂を守る会に相談したことがきっかけ。

#### 協働内容

いわき市の四倉海岸には、砂浜を歩くと、キュッ、キュッと美しい音が鳴る「鳴き砂」が分布しており、鳴き砂は、きれいな砂浜として環境のパロメーターとも言われています。全国でも珍しい貴重な砂浜を後世に残そうと、主催団体、福島県内のトヨタ販売店のスタッフのほか、学生、一般参加者を交え、海岸清掃や、実際に砂浜が鳴る地点の調査に取り組み、環境保全の大切さを学びました。

#### NPO法人いわき鳴き砂を守る会のコメント

美しい海や川を次世代につないでいくため、まずは、身近な環境への関心を持ってもらうことが重要となります。その上で多くの人々が関わることで、環境保護に対する啓発活動が広がっていきます。「鳴き砂」をいわきの宝として次世代に伝えていきたいです。

## 協働事例 3

### 会津地域で農福連携

～障害者等が農業分野で活躍し、社会参画を実現していく取組～



協働の主体と役割

- NPO** 特定非営利活動法人富夢富夢(喜多方市)、  
ほか会津地域の障がい者施設(約15ヶ所)  
【役割】障がい者の福祉的就労の促進
- 企業** APJ株式会社  
【役割】就労の機会の提供



#### 協働のきっかけ

APJ株式会社が会津支援学校の雇用連絡協議会に参加し、農業を学ぶ生徒と一緒に落花生を栽培する授業を行い、一生懸命、草むしり作業をする姿を見て、一緒に農業をしていけたらいいなと思ったのがきっかけ。

#### 協働内容

APJ株式会社は、会津地域の約70軒の契約農家と共に、落花生を栽培しており、会津地域の障がい者施設約15ヶ所と協働し、種まきから収穫、乾燥、焙煎まで一貫生産を行っています。機械ではなく、落花生の殻を手作業で剥くことで、ピーナッツに傷が付きにくく、酸化せず、美味しさが保たれ、商品の価値が向上しています。この協働が、会津地方でのピーナッツの特産化にも寄与しています。

#### 特定非営利活動法人富夢富夢のコメント

APJ株式会社様と作業連携をして5年になります。5年前、JA全農福島様の声かけから始まり、手探り状態で始めた作業ですが、現在では種まきから収穫、ビニールハウスでの干し方、もぎ方、工場での選別、殻剥きと一年を通して多種多様な作業を行えるようになりました。

利用者さんのそれぞれ特性に合った作業を提供できること、また、工賃アップにつながる事ができたのが良かったです。また、畑で働くことが大好きな利用者さんが多く、事業所内では見ることができないイキイキとした表情を見ることができた点もとても良かったと感じています。

## 協働事例 4

### 二本松の銘酒を使った 大人向けジェラート開発

協働の主体と役割

- NPO** NPO法人はなみずき(すてっぷ)  
【役割】ジェラートづくりを受注
- 企業** 有限会社丸大大阪屋商店  
【役割】銘酒のジェラートを企画、発注
- 株式会社福島銀行  
【役割】ふくぎんビジネスマッチングシステムを提案、コーディネート



#### 協働のきっかけ

有限会社丸大大阪屋商店が経営する飲食店で提供する看板商品として、日本酒を使った大人向けのジェラートづくりを企画し、福島銀行に相談したことがきっかけ。

#### 協働内容

企画した商品を製造できるパートナーを探していたところ、福島銀行のビジネスマッチングにより、NPO法人はなみずき(すてっぷ)が紹介され、商品化が実現しました。日本酒の持つ風味を活かした商品づくりに苦勞し、何度も試作を重ねながら完成したジェラートです。また、クラウドファンディングを活用し、新商品のPRも実施しました。

#### NPO法人はなみずき(すてっぷ)のコメント

当団体は、障がい者の就労支援事業所ですが、銘酒づくりで定評のある大七酒造株式会社様のブランドで商品づくりができたことが大きな自信につながりました。今後の励みになります。また、有限会社丸大大阪屋商店様には販路の拡大をしていただきありがとうございます。

# チャレンジインターンシップ 活動成果報告会・閉講式開催

10月26日(土)にチャレンジインターンシップ「活動成果報告会・閉講式」が郡山商工会議所会館で開催されました。報告会ではインターン修了生の活動報告があり、各受入団体から修了生へ報告の感想や、これからの活動への期待が寄せられました。閉講式では、福島県より修了生30名へ修了証書が授与され、共催のコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社からは記念品の贈呈が行われました。

NPO × 若者  
= 創る!!



ほっと一息  
ブレイクタイム

近くに来たらぜひ寄ってみて!

## 就労支援 センター ほっと悠Ms



南相馬市にある「就労支援センターほっと悠Ms」の中の「SHOKOBOほっと悠」では、真心込めて作ったお弁当を提供しています。朝8時から電話注文販売となります(無くなり次第終了)、まとまった数が必要な時は、事前に予約注文すれば直接届けてくれますので、とても便利です。日替りメニューでボリュームも栄養も満点のお弁当は、500円です。

運営：特定非営利活動法人 ほっと悠



施設内には、1. 明るい挨拶 2. 元気に働く 3. みんな仲良く助け合う と力強い文字で目標が掲げられており「人さまの喜ぶこと&人さまのお役に立つこと」を理念とし、障がい者と健常者が共に手を取り合って働いています。

焼海苔・しじみのり・ふりかけ・七福茶・ごぼーのチップスや極久里珈琲など美味しく身体に優しい商品も販売しています。

住所／福島県南相馬市原町区橋本町3丁目35番地3  
TEL・FAX／0244-22-5504  
【営業時間】平日8:00～無くなり次第終了  
【休日】土、日、祝日  
配達範囲：南相馬市及び近隣市町村(相談可)

## なごみの店



和の豆乳入りの大判焼き。程よい甘さの粒あんが入った大判焼きは、お店の一番人気で、一つ一つ丁寧に焼き上げています。値段は1個140円。ぜひご賞味ください。他にも、手作り和とうふ、和こんにゃくや、海産物、旬の地元の野菜、生花なども販売しています。セットでお得なオンラインショップもご利用ください。

また、なごみの店には、パスタやラーメン、ドリンク類など、軽食を提供する「なごみCafe」も併設され、地域との交流の場を提供しています。お気軽にお越しください。

オンラインショップ  
<https://www.npo-nagomi.org/pages/38/>



運営：特定非営利活動法人 和(なごみ)

住所／福島県二本松市沼ヶ作236-1  
TEL・FAX／0243-24-1087  
【営業時間】9時～17時  
【休日】第2、4、5土曜日、日曜日

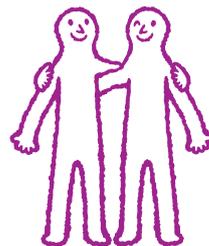


開催のお知らせ

# 企業とNPOの協働推進 シンポジウム in 福島

～企業とNPO ひろがる協働のみらい～

本シンポジウムでは、福島県内の企業とNPOとの協働事例を通して、NPOと企業との今後の連携・協力の可能性を広げ、ふくしまの未来を考えます。



## ▼開催内容

日時／令和7年2月27日(木)  
13:30～16:30  
※13:00から受付

会場／杉妻会館(福島市)

当日は会場の様子をオンラインで同時配信します。  
※事前に申込が必要です。

参加／無料

※どなたでもご参加いただけます。

主催／福島県

皆様のご参加を心よりお待ちしております。  
是非、ご友人や同僚の方々にも本シンポジウムの情報を共有いただければ幸いです。

### 第一部

講演

「企業とNPOとの連携事例から今後の可能性を探る」

特定非営利活動法人日本NPOセンター 常務理事 田尻 佳史 氏

### 第二部

企業×NPOの協働事例紹介

●事例1 企業ショールームを活用した子ども食堂活動

福島ガス株式会社×NPO法人ビーンズふくしま

●事例2 二本松の銘酒を使った大人向けゼラート開発

有限会社九大大阪屋商店×NPO法人はなみずき(すてっぷ)×株式会社福島銀行

●事例3 社員寮を活用したお互いさま倉庫・コミュニティフリッジひまわり

株式会社いちい×NPO法人チームふくしま

●事例4 いわきの海岸清掃と鳴き砂の定点観測活動

福島県内トヨタ販売店各社×NPO法人いわき鳴き砂を守る会

交流会&名刺交換会

参加をご希望の方は、事前申込をお願いいたします。

※ご不明な点がございましたら、事務局までどうぞお気軽にお問い合わせください。

ふくしま地域活動団体サポートセンター TEL:024-521-7333

お申し込みはこちらから ▶



## 助成金情報

チャレンジしてみよう!

NPO関連の助成金情報については当センターのウェブサイトをご覧ください。  
<https://f-saposen.jp/category/subsidy/>



◇社会教育・学術、文化、芸術、スポーツ・地域安全・子どもの健全育成・NPO支援

伴走型就学・学習支援活動助成【支援元／公益財団法人樫の芽会】

●助成対象／①高校・大学・専門学校等への進学・卒業を支援する活動団体

②現在の活動を拡充して、高校・大学・専門学校等への進学・卒業を支援する活動にチャレンジする意欲のある団体

●申込期限／2025年3月7日(金)正午 ●助成金額／1件あたり上限30～300万円 ●参考URL／<https://www.kashinomekai.or.jp/assisting/#anc01>

◇子どもの健全育成・NPO支援

サントリー“君は未知数”基金2025【支援元／サントリーホールディングス株式会社】

●助成対象／10代の子ども・若者が、自らの生まれ持った固有の可能性に自然や他者とのつながりの中で気づき、自らの可能性や、豊かなつながりを育んでいくための機会や環境を地域や社会に広めていく事業や活動に取り組む団体。

●申込期限／2025年3月18日(火)正午 ●助成金額／1団体あたり最大1,000万円(申請金額の下限:500万円)

●参考URL／[https://www.suntory.co.jp/company/csr/kimi\\_wa\\_michisu/program.html](https://www.suntory.co.jp/company/csr/kimi_wa_michisu/program.html)



### ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741

E-mail [saposen@f-npo.jp](mailto:saposen@f-npo.jp) URL <https://f-saposen.jp/>

◆県内の認証 NPO 法人団体／921 団体

◆認定 NPO 法人団体／22 団体 ◆特例認定 NPO 法人団体／0 団体 2024 年 12 月 31 日現在

### 編集後記

初めて全身に蕁麻疹が(驚)、冬の乾燥恐るべし! 【内山】

2025健康意識高めていきます 【村松】

2/27企業とNPOの協働推進シンポジウム開催します 【伊藤】

夫が作ったおでんの太根に心ほっこり沁みる夜 【齋藤(美)】

編集チーム一同読者の皆様に感謝、次号もお楽しみに! 【阿部】

今年の抱負。世の中の変化と自分の老化に対応! 【齋藤(宏)】

冬の寒さが一段と身に染みます…早く春にな～れ! 【本田】